

令和5年3月24日

保護者 様

鳥栖市立若葉小学校  
校長 篠田 桂子

## 令和5年度からの「成績2期制（通知表の年2回発行）」の実施について

春分の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。

さて、「成績2期制（通知表の年2回発行）」については、東京都や都市圏では以前から導入され、その成果が実証されており、佐賀県内においてもすでに多くの市町で実施されている状況です。また、鳥栖市内においても、ほとんどの学校が導入をはじめ、学校教育のさらなる充実に向けての取組が進められているところです。

そこで、本校におきましても、小中一貫教育の充実を図り、田代中学校校区4校の足並みを揃え、児童が将来にわたって質の高い教育を受けることを基本に、来年度から下記の通り「成績2期制」を実施することといたしました。

保護者の皆様におかれましては、世の中が大きく変化をしている中、学校も変革の時にあたること、そして、子供たちのよりよい成長を願う方策であることをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

### 記

#### 1 具体的な変更点

- 学習・生活に関する評価期間を3期制（1・2・3学期での評価）から2期制（前期：4月～10月上旬、後期：10月中旬～3月）にします。ただし、学校生活はこれまでどおり3学期制で行います。
  - ※1学期、2学期、3学期という枠組みで、4月・8月・1月に始業式、7月・12月に終業式、3月に修了式を行います。
  - ※「学期制」については、市の規則で決められるものであり、学校単位で変更することはできません。そこで、学期はそのままで、学校運営上、成績のみ前期・後期の2期制を取ることとなります。
- これに伴い、通知表の発行を年3回（各学期末）から、年2回（10月上旬と3月）に変更いたします。
- これまで行っていた1学期・2学期・3学期のまとめのテストは、前期・後期のまとめのテストとして実施いたします。

#### 《現行（成績3期制）》

1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
【1学期通知表】		【2学期通知表】		【3学期通知表】

#### 《変更（成績2期制）》

1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
		【前期通知表】		【後期通知表】

前期配付(10月上旬)      後期配付(3月修了式)

《裏面へ続く》

## 2 変更とその効果について

小学校では、令和2年度から新しい学習指導要領が完全実施されています。そこでは、新たな変革の多い時代に必要な資質や能力、そして、児童が「何をどのように学び、何ができるようになるか」ということを念頭に置いた指導が強く求められています。そのためには、これまで以上に基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と思考力・判断力・表現力の向上が必要となってきます。

このため、児童の成長を見取る評価活動についても、十分な授業時数の確保を行った上で、評価期間を長めに取り、より合理的・効果的なものに変更する必要があると考えます。そして、十分な指導時間の中で、児童の成長を促しながら、その過程や結果を評価し、保護者様にお知らせしていく必要があると考えます。

- 前期と後期の2回の評価により、評価期間(指導期間)が長くなり、児童一人一人をよく見ながらゆとりをもって学習を進めることができ、より丁寧で計画的な指導ができます。
- 前期のうち、4月から7月までの評価を夏季休業中に、後期のうち10月から12月までの評価を冬季休業中に行うことで、職員はじっくりと時間をかけて児童のよさや課題の確認、今後の手立ての検討を行うことができます。
- 評価は、テストの結果のみではなく、日頃の学習の様子やノート、ワークシート、作品、学習課題の提出状況等も大事にしています。評価期間が長くなることで、よりきめ細やかな指導と評価ができるようになります。
- 前期[後期]の評価を9月[3月]に実施することで、夏季[冬季]休業等を活用した自主学習や個別の学習課題等による児童の伸びを今まで以上に評価に反映することができます。
- これまで学校行事等が組みにくかった7月や12月も活用できるようになります。このことで、学校の教育活動全体にゆとりを生み出すことができ、学習面・生活面をこれまで以上に充実させたり、職員と児童が触れ合う機会が増えたりすると考えます。
- 成績2期制の取組については、田代中学校、田代小学校、弥生が丘小学校がすでに取り入れています。若葉小学校も実施することで、田代中校区が同じ成績評価の枠組みとなります。

## 3 変更に係る不安への対応について

- 昨年度まで夏休みにあった1学期末の評価(1学期末の通知表)がないことで、「勉強はちゃんと分っているのか」などの不安を感じられる方もいらっしゃると思います。  
→夏季休業中に個人懇談会を行い、その際、1学期の児童の様子や成績等についてご説明する機会を設けます。
- 「夏休みの学習課題にやる気をもって取り組まないのではないか」と不安を抱かれる方もいらっしゃると思います。  
→児童には、夏休みの学習の積み重ねが9月の学習や前期の評価に大きくつながることを伝え、今まで以上に夏休みの学習が大切になることを意識させます。また、長期休業中に児童の学習に対する意欲の継続を図るため、タブレット端末を使って、学校と家庭とをつなぎ、課題のやり取りや確認等を行うなどの計画を進めています。
- 「学期末に通知表をもらわないと区切りが曖昧で、けじめがつかないのではないか」と思われる方もいらっしゃると思います。  
→成績2期制になりますが、学校生活はこれまでどおり1学期、2学期、3学期という枠組みで変わりません。始業式や終業式等も学期ごとに行います。児童には、各学期末に振り返りを行わせたり、新学期にはめあてを立てさせたりしますので、これまでと変わらない区切りの学校生活を送れると考えます。
- 「年間のテストの回数が減るのではないか」と考えられる方もいらっしゃると思います。  
→テストの時期や出題内容については若干変わるかもしれませんが、成績2期制の教育課程に応じた形で計画しますので、現在とそれほど大きく変わることはありません。